

配布物一覧

1. 農学部学生便覧
2. 全学共通科目授業内容
3. 英語科目便覧
4. 健康診断票（後で個別に配付）
5. 採尿容器（健康診断のときに持参すること）
6. 平成27年度科学英語（農学）履修者へ
7. 学内PCからのネットワークの利用に関する基準
8. 薬物のない学生生活のために
9. 北部構内の駐輪について
10. 農学研究科ハラスメント窓口相談員名簿
11. 学科ガイドブック（分野紹介パンフレット）

科学英語のクラス分けについては、学部教務掛の掲示板もしくはKULASISで確認すること。



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

京都大学農学部地域環境工学科 平成27年度 2回生ガイダンス

地域環境工学科長

星野 敏

(農村計画学分野 教授)

本日のガイダンス

1. 地域環境工学科の分野・カリキュラムの説明
2. 学生便覧の解説
3. 同窓会(洛水会)からの連絡



本日のガイダンス

1. 地域環境工学科の分野・カリキュラムの説明
2. 学生便覧の解説
3. 同窓会(洛水会)からの連絡



詳しくは学科ガイドブックあるいは
地域環境工学科ホームページ
<http://www.aee.kais.kyoto-u.ac.jp/>

○ 地域環境工学科の“構成”



水・土・緑系（学習・教育目標）

A: 自然科学・情報技術の基礎学力の修得

物理, 数学など自然科学の基礎学力およびコンピュータに関わる情報技術の基礎は, 多くの仕事での即戦力となるばかりではなく, 多くの仕事において将来の成長に関わる基幹学問です。一部は高校生でも学んだと思いますが, 1, 2回生ではその基礎学力をさらに高めてください。



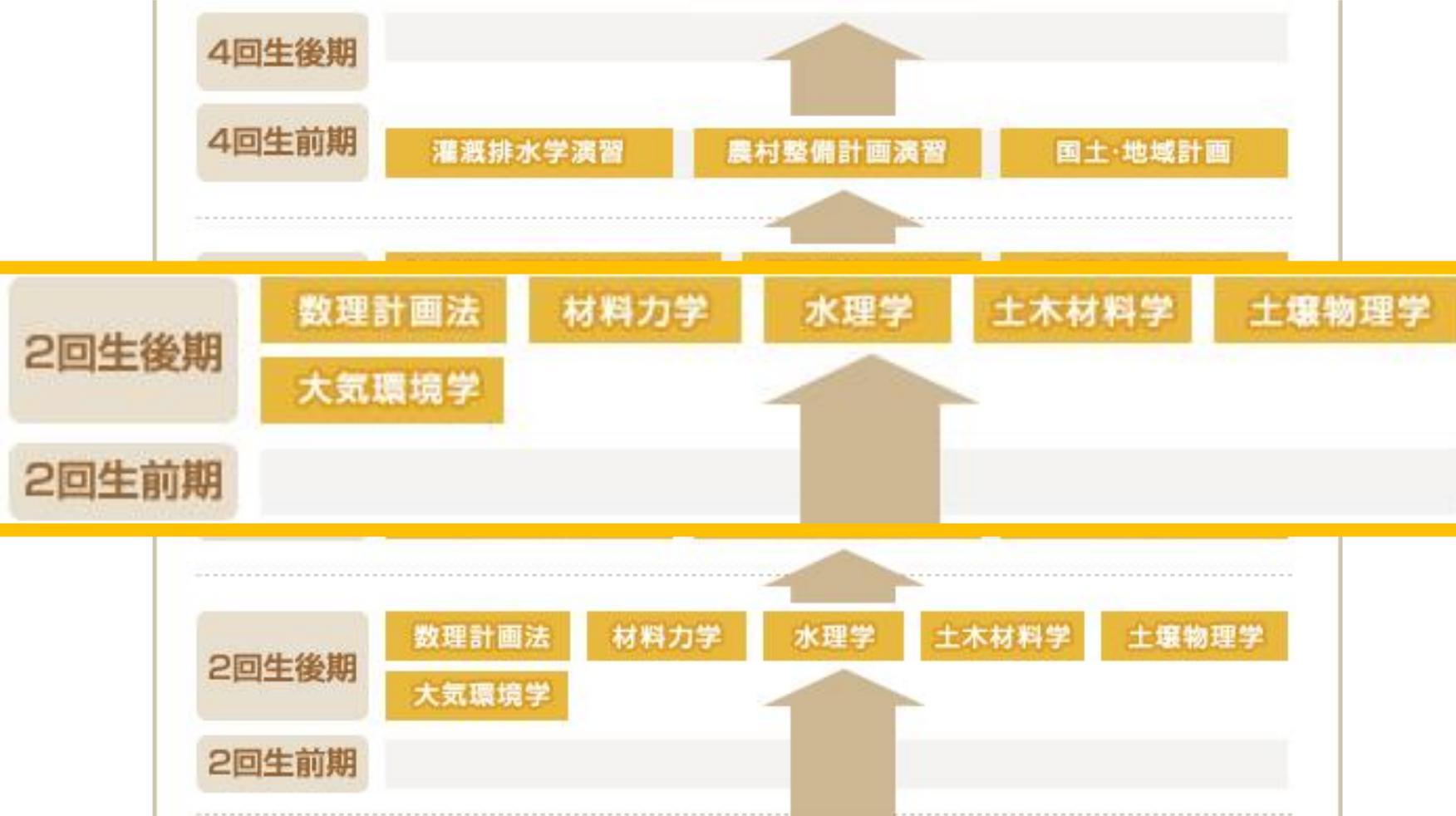
B:“水土緑の工学”の全容理解

水土緑の工学は、食料生産のための水と土の環境と、それを育む農村環境の整備を行い、人類と自然のバランスの取れた関係の維持発展を行うための学問です。その全容を理解し、個々の講義の重要性を認識してください。



C: “水土緑の工学”の知識と応用能力の修得

適切な地域環境を構築するためには、状況に応じて知識と技術を応用することが大切です。ここでは、その工学的な手法を講義、演習、実験を通じて学び、エンジニアとしての基礎を修得します。



D: 農学の知識の修得と応用能力の育成

農学は非常に多様な生物,複雑に作用・変化する環境を取り扱っています。水土緑系では,複雑で多様な対象物から得られる知識の蓄積を基に,多彩な思考能力および多面的な見方を養うことを目的とします。



E: コミュニケーション能力・プレゼン能力の育成

国際化が進む現在、英語の重要性は言うまでもありません。また自分の調査、研究した内容および意見を他人にわかりやすく説明する能力は社会人では必須です。それらのことより、水土緑系では、日本語によるプレゼンテーションはもちろんのこと、英語で「課題研究」の要旨などを発表できることを卒業までの目標としています。

4回生後期

課題研究

4回生前期

課題研究

2回生後期

科学英語B

2回生前期

科学英語A

1回生後期

英語II

1回生前期

英語I

F: 高い問題解決能力と課題設定能力の育成

社会人になると授業で習ったことだけでなく、習っていない問題に遭遇するのが普通です。そのような問題を自分の持っている知識、経験だけでなく、新たに調査、学習しながら自分自身で解決する能力を育成することは、どんな職業においても必要となるため、最重要の目標です。さらに、問題解決後次の課題を自分自身で設定し、その問題を解決する能力も大切です。これは特に実験、実習、演習、課題研究などによって養われますので、しっかりと自分の目で見て理解することを心がけてください。



食料・エネルギー系（学習・教育目標）

A: 高い問題解決能力と課題設定能力の育成

社会人になると授業で習ったことだけでなく、習っていない問題に遭遇するのが普通です。そのような問題を自分の持っている知識、経験だけでなく、新たに調査、学習しながら自分自身で解決する能力はどこに就職しても必要となる最重要の目標です。さらに、問題解決後次の課題を自分自身で設定し、その問題を解決する能力も重要な能力です。これは特に実験、実習、演習、課題研究などによって養われますので、しっかりと自分の目で見えて理解することを心がけてください。



4回生後期

農業機械学演習

課題研究

4回生前期



2回生後期

情報処理学及び演習Ⅱ



2回生前期

情報処理学及び演習Ⅰ



1回生後期

地域環境工学演習

1回生前期

物理学実験



B: 自然科学・情報技術の基礎学力の習得

物理、数学など自然科学の基礎学力およびコンピュータに関わる情報技術の基礎は、多くの仕事での即戦力となるばかりではなく、仕事上での将来の成長に関わる基幹学問です。一部は高校生でも学んだと思いますが、1,2回生ではそれをさらに高めてください。



C: 農学の知識の習得と応用能力の育成

農学は非常に多様な生物,複雑に作用・変化する環境を取り扱っています。当講座では,複雑で多様な対象物から得られる知識の蓄積を基に,多彩な思考能力および多面的な見方を養うことが可能です。このことは新しい発想を生む力となり,仕事を行う上での応用能力に結びつきます。



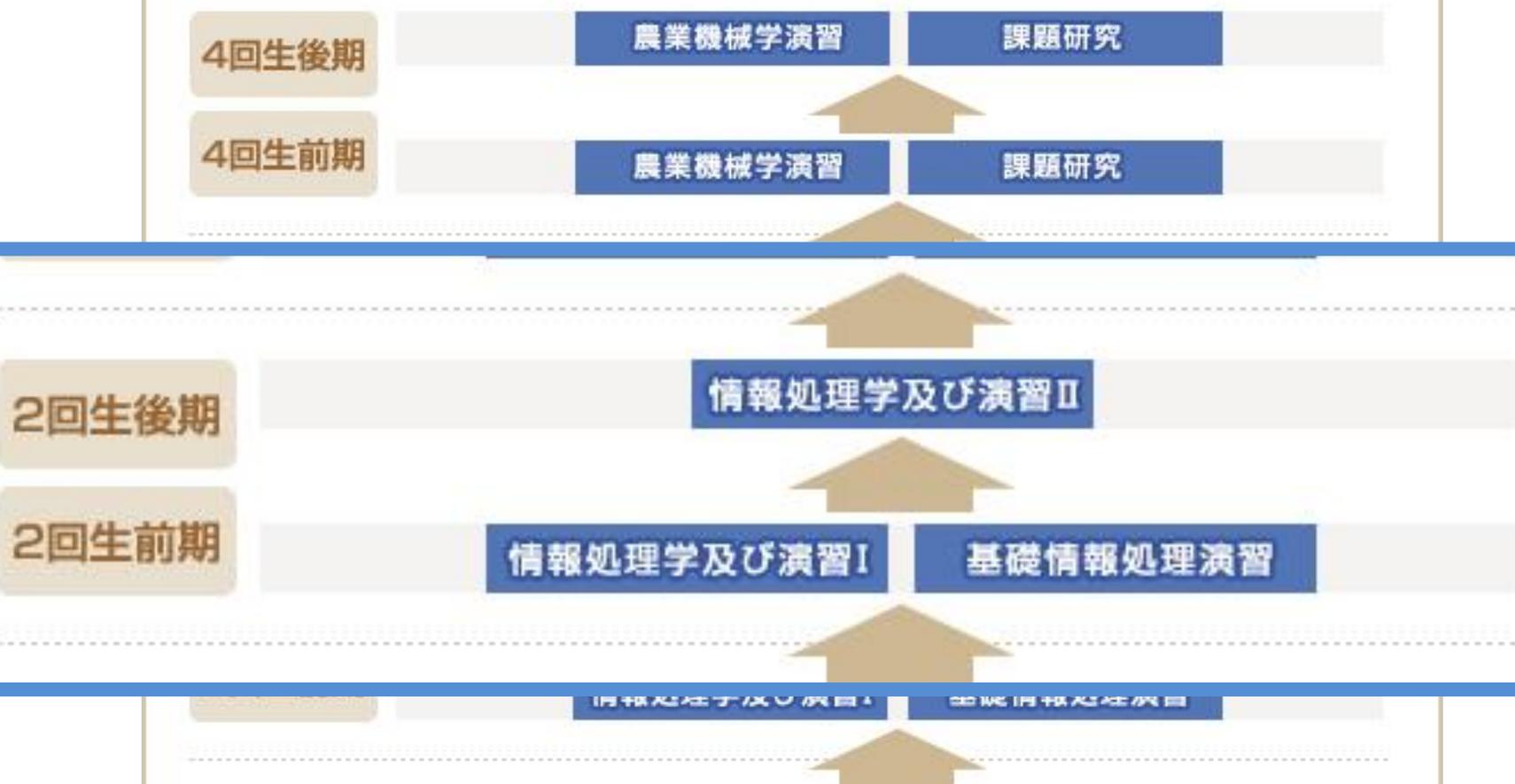
D: 工学の知識の習得と応用能力の育成

「4力学」を基礎とした機械工学の基礎学、生物、土壌、環境対象とした計測、制御、システムなどの学問、および工学に関わる知識は、実社会において高い問題解決能力に直結しています。特に当講座では学習目標Cである知識蓄積型の農学と積み上げ型の工学の融合学習に特徴があります。



E: 創造力・デザイン能力の育成

「製図」、「機械設計」、「情報処理学及び演習」などの講義を通じて、創造力と感性を養うことが可能です。また、製図を学び一つの図面を仕上げる事、プログラム言語を習得し一つのプログラムを完成させることは、自ら考え、問題解決する能力にも結びついています。



F: コミュニケーション能力・プレゼン能力の育成

国際化が進む現在、英語の重要性は言うまでもありません。また自分の調査、研究した内容および意見を他人にわかりやすく説明する能力は社会人では必須です。それらのことより、当講座では、英語で「課題研究」の要旨などを発表できることを卒業までの目標としています。そのために、「英語」、「科学英語」、「農業機械学専門外書講義」、「農業機械学演習」などの講義があります。

4回生後期 農業機械学演習 課題研究

4回生前期 農業機械学演習 課題研究

2回生後期

科学英語B

2回生前期

科学英語A

1回生後期 英語II

1回生前期 英語I 物理学実験

コースツリー

(便覧85・86ページ)

農学部の学位授与方針(DP)

生命・食料・環境に関する世界水準の自然科学・社会科学の理解力

生命・食料・環境に関して人類が直面する課題を科学的に解決する構想力

生命・食料・環境に関連する産業への理解と、倫理観をもった社会人基礎力・行動力

生命・食料・環境に関連する課題へ取り組む幅広い視野とコミュニケーション能力

自然科学・情報技術の基礎学力の修得

“水土緑の工学”の全容理解

“水土緑の工学”の知識と応用能力の修得

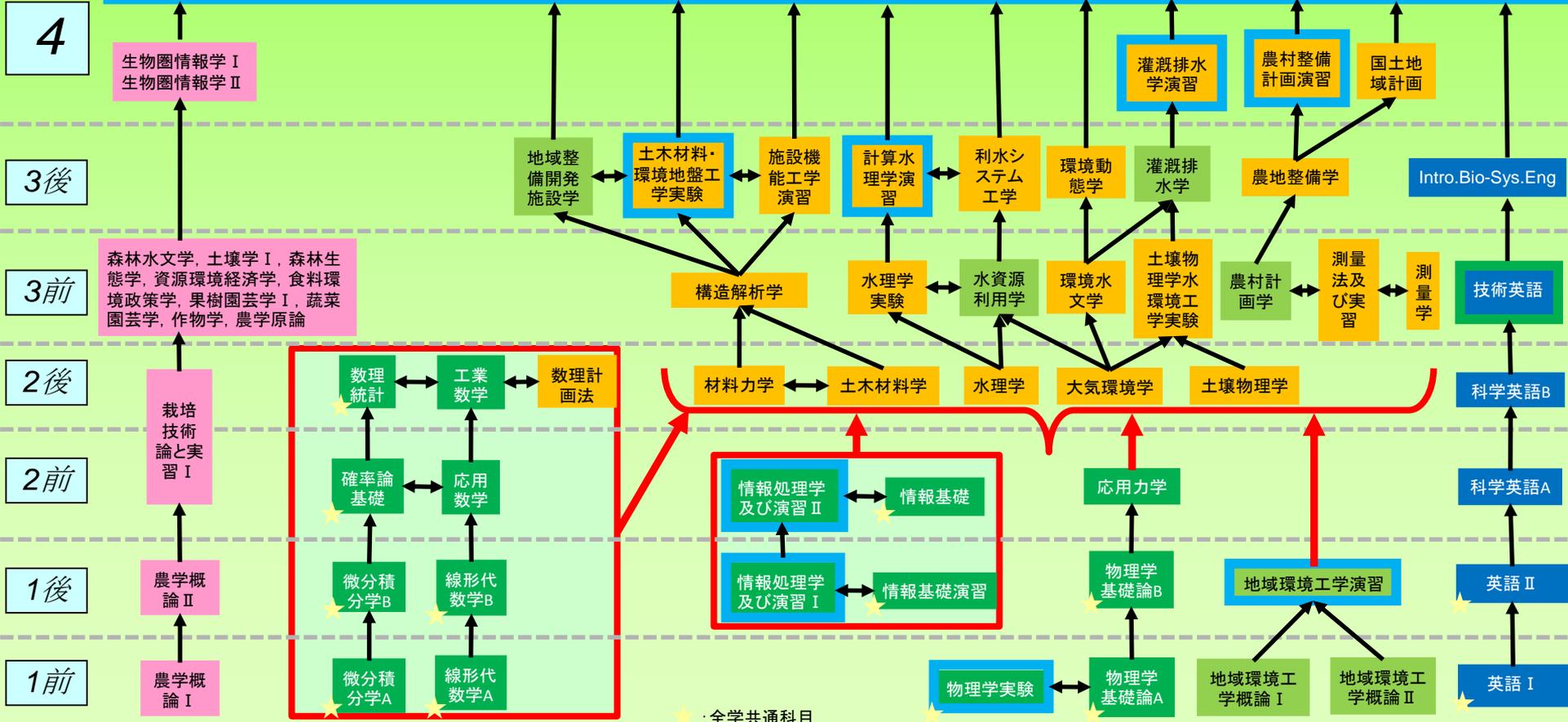
農学の知識と応用能力の修得

コミュニケーション能力・プレゼン能力の修得

高い問題解決能力と課題設定能力の修得

地域環境工学科の学習・教育目標(水・土・緑系)

課題研究



★: 全学共通科目

農学部の学位授与方針(DP)

生命・食料・環境に関する世界水準の自然科学・社会科学の理解力

生命・食料・環境に関して人類が直面する課題を科学的に解決する構想力

生命・食料・環境に関連する産業への理解と、倫理観をもった社会人基礎力・行動力

生命・食料・環境に関連する課題へ取り組む幅広い視野とコミュニケーション能力

自然科学・情報技術の基礎学力の修得

創造力・デザイン能力の修得

工学の知識と応用能力の修得

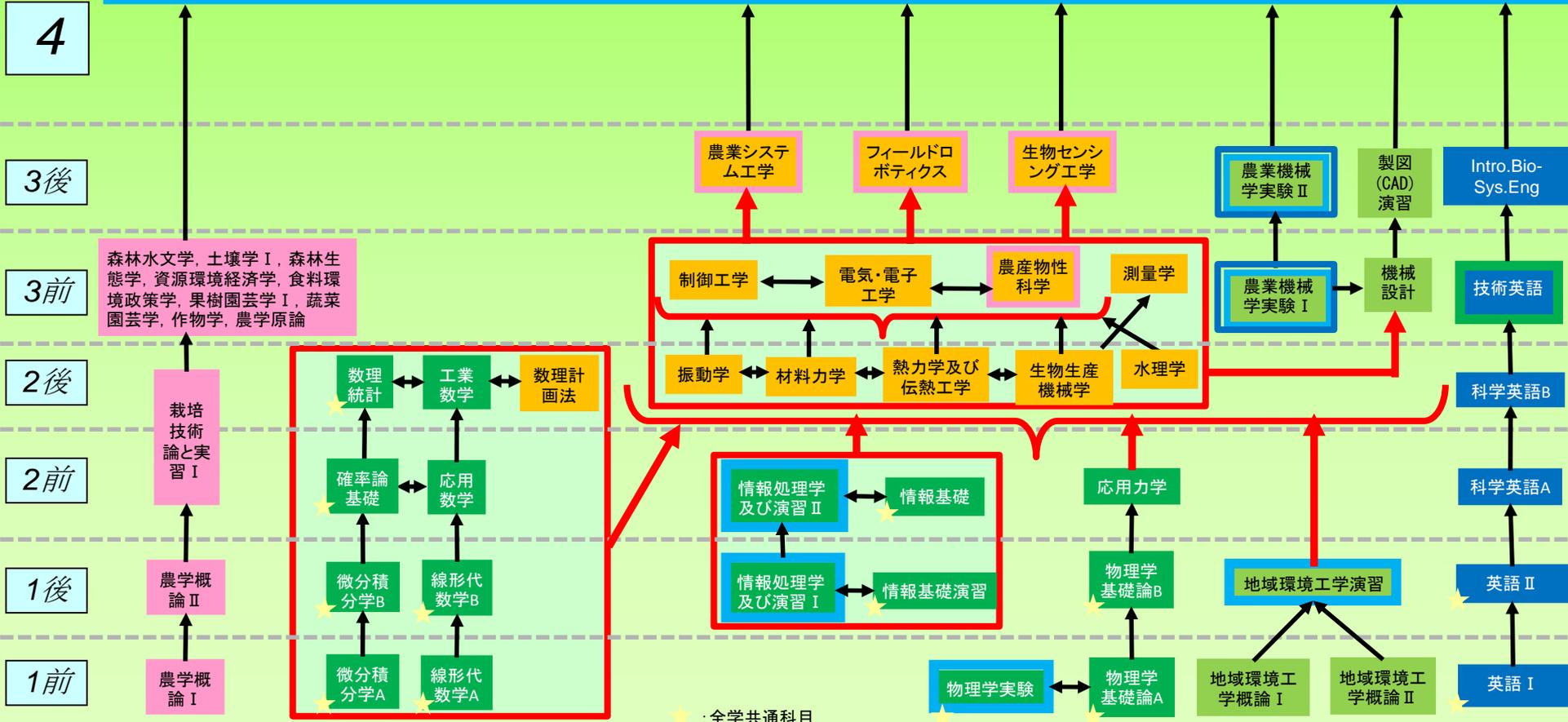
農学の知識と応用能力の修得

コミュニケーション能力・プレゼン能力の修得

高い問題解決能力と課題設定能力の修得

地域環境工学科の学習・教育目標(食料・エネルギー系)

課題研究



本日のガイダンス

1. 地域環境工学科の分野・カリキュラムの説明
2. 学生便覧の解説
3. 同窓会(洛水会)からの連絡



平成27年度農学部学年暦

学生便覧
裏表紙

- 授業期間:

前期授業: H27年4月8日(水)～8月5日(水)

(前期試験・フィードバック期間:

H27年7月23日(木)～8月5日(水))

後期授業: H27年10月1日(木)～H28年2月5日(金)

(後期試験・フィードバック期間:

H28年1月25日(月)～2月5日(金))

フィードバックとは、学習した知識の定着を学生自ら振り返る機会を提供し、その経験を次の学習にも活用する能力を養うことを目的として行う。

- 休業

夏季休業: H27年8月6日(木)～9月30日(水)

冬季休業: H27年12月29日(火)～H28年1月3日(日)

※ 曜日の振り替えがあります。

卒業に必要な科目及び単位数(1)

学生便覧
7ページ

教育研究・人材養成の目的	ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)					
	全学共通科目			農学部専門科目 (E群)	分野 分属	課題 研究
	【平成24年度以前入学者】					
	A群 (人文・社会科学系科目)	B群 (自然科学系科目)	C群 (外国語科目)			
	【平成25年度入学者】			農学部専門科目 (E群)	分野 分属	課題 研究
	人文・社会科学系科目群	自然・応用科学系科目群※	外国語科目群			
カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)						
アドミッション・ポリシー						

平成25年度
以降入学者
の箇所を見る

卒業に必要な科目及び単位数(2)

学生便覧
8ページ

平成25年度以降入学者

- 全学共通科目 : 48単位以上
 - 人文・社会科学系科目群 : 12単位以上
 - 自然・応用科学系科目群 : 16単位以上
 - (学科の推薦科目から10単位以上含む)
 - 外国語科目群 : 12単位以上
 - 現代社会適応科目群 : 6単位以上
 - 拡大科目群 : 2単位以上

当該年度の「全学共通科目授業内容履修の手引き」

- 農学部専門科目 : 84単位以上

学生便覧
10ページ

合 計 : 132単位以上

卒業に必要な科目及び単位数(3)

- 農学部専門科目 : 84単位以上
 - 1回生配当科目から6単位以上
 - 2回生配当科目から16単位以上
 - 3～4回生配当科目から(「課題研究」を含む)50単位以上

学生便覧
26～28ページ

必修科目:

- 1回生配当: 地域環境工学概論 I, 地域環境工学概論 II
- 2回生配当: 応用数学, 応用力学, 材料力学, 水理学
- 4回生配当: 課題研究

- 科目の新設変更廃止等

学生便覧
40ページ

■学業成績の表示方法

- 4段階評価から6段階評価に変わる.
- 厳密な成績評価が実施される

学生便覧
14ページ

■成績異議申し立て

- 農学部専門科目の成績について、異議を申し立てる場合は、学部教務掛まで申し出ること.

学生便覧
15ページ

■農学部専門科目試験及び全学共通科目試験における不正行為について

- 不正行為によりその期間のすべての科目の成績が無効になる。通年科目の全単位も失う.
- レポート中のコピペも不正の対象である。

学生便覧
15ページ

■ 気象警報発令時及び公共交通機関不通時の農学部専門科目に係る授業・試験の取扱い

- ・ 熟読して下さい。
- ・ 午前6時半と10時半がポイント！

学生便覧
16ページ

■ 特別実地研修について

- ・ インターン研修が単位として認定される。
- ・ 当学科では、C230地域環境工学実習(3回生前期集中)がインターン研修に相当する

学生便覧
41ページ

■ 教育職員免許状取得のための教科に関する科目表

- ・ 中一種免・高一種免 「理科」
- ・ 高一種免「農業」

学生便覧
52+56ページ

■資格取得について

学生便覧
62ページ

- ・ 測量士補 ← 「測量学」と「測量法および実習」
- ・ 施工技術検定規則による1級及び2級の受験資格

■授業料等を不徴収とする大学間・部局間学生交流協定 締結校への派遣について

学生便覧
63ページ

■外国の大学で修得した科目及び単位の認定について

学生便覧
63ページ

■転学科・転学部

学生便覧
63ページ

■ 18. 学生生活・在学中の諸手続等

学生便覧
64ページ

(1) 教務窓口取扱時間

学部教務掛(中央棟1階) 9:00~17:00

(2) 学生への周知・連絡

KULASIS 教務窓口横の掲示板

(3) 学生証 常に携帯

(4) 授業料 前期分4月末日まで, 後期分10月末日まで

(5) 修学上の届出・願出等について

休学願, 復学届(願), 退学願

海外渡航届

提出が遅れると不利益
を受ける場合がある。

(6) 各種証明書発行

(7) 通学定期乗車券等の購入について(補足)

(8) 授業料免除(徴収猶予)について

(9) 各種奨学金

(10) 健康診断

健康診断票
採尿容器

(11) 大学が加入を勧める保険等(補足)

(12) 外国人留学生

■ 18. 学生生活・在学中の諸手続等

(13) 学生生活において、留意願いたいこと.

① 飲酒

② 大麻等の違法薬物の乱用について **薬物のない学生生活のために**

③ **ハラスメントの防止と解決のために(補足)**

④ 構内での喫煙について(補足) 屋外の所定場所以外は禁煙

⑤ Safety Support Cardについて(補足) 常に携帯

⑥ 盗難・不審者への対応, 紛失物(補足)

⑦ 交通事故について(補足)

⑧ 相談体制について

⑨ 学生相談室 南棟1階 心身に悩み

⑩ 学生支援ルーム 北棟1階 就職関連情報

⑪ 履修指導と保護者への連絡

補足の説明

安全の手引き
毒物及び劇物の取扱について
学生ロッカーの貸し出しについて
一時集合場所



1. 通学定期券の不正購入・不正使用 学割証の不正使用 (学生便覧68頁(7))



- 通学区間の詐称
- 本人以外の使用
- 記載区間外の乗車
- 有効期間外の使用





2. 学生教育研究災害傷害保険（学研災）
同付帯賠償責任保険（学研賠）
（学生便覧69頁(11)）

学研災；教育・研究活動、課外活動、通学中
などの事故による障害に対する保険



学研賠；上記活動に加え、インターンシップ、
ボランティア中における対人・対物賠償



3. ハラスメントの防止 (学生便覧71頁③)

被害を受けたと感じたら、迷わず
ハラスメントの窓口へ

4. 校内での喫煙

(学生便覧71頁④)

農学研究科・農学部の屋内は全面禁煙

野外でも指定場所以外では全面禁煙

5. 安全管理 (学生便覧71頁⑤、配布パンフ)



The image displays two emergency contact cards. The left card is a 'Safety Support Card' with a yellow and blue header, listing various emergency scenarios and their corresponding contact numbers and times. The right card is a 'University of Kyoto Northern Campus' emergency card, specifically for students, with a black and blue header, listing emergency scenarios and contact information for the Faculty of Agriculture and the University of Agriculture, Kyoto.

Safety Support Card 09.03

火事だ! → 以外 119
RI管理区域
内・付近

給・排水が漏れている!
異臭がする!
電気系統にトラブルだ!
夜間・休日 → 075-753-2255 (農学部門衛所)
075-753-6034 (農学部防災監視室)
平日 8:30~17:30 → 075-753-6021 (施設担当)

ガス漏れだ!
夜間・休日 → 075-314-1241 (大阪ガス)

エレベータが故障した!
夜間・休日 → 総合館 農学生命科学研究棟での故障は... 075-231-7144 (フジテック)
農学2号館での故障は... 075-213-1194 (三菱ビルテクノサービス)

京大北部キャンパス 学生用
農学部 / 農学研究科

悪徳商法に騙された!
〇〇で悩んでいる。
相談窓口がわからない。 → 窓口へ(電話相談も可) 平日 8:30~17:30
学部生(第一教務掛) 075-753-6012
大学院生(第二教務掛) 075-753-6014

落とし物をした! 拾った! → 夜間・休日 075-753-2255 (農学部門衛所)
平日 8:30~17:30 075-753-6004 (総務掛)

急病!ケガ!救急車を呼んだ!呼んで! → 075-753-2255 (農学部門衛所)

事件!警察を呼んだ!呼んで! → 075-753-6004 (総務掛)

不審者がいる!
学内で盗難発生! → 宇治地区キャンパス利用学生用 休日・夜間 0774-38-4350 (門衛所)

不審者がいる!
建物の障害 → 0774-38-4350 (門衛所)

個人的な連絡先の備忘メモ

6. 盗難、不審者への対応 (学生便覧71頁⑥)

- 貴重品の管理、施錠
個人情報の流失につながるケースあり
- 携帯電話などの紛失にも注意
- 深夜の不審者、変質者の出没
単独行動の回避

7. 交通事故の防止

(学生便覧72頁⑦)

- 自転車 (加害者としての事故急増)
京都府道路交通規則の改正【厳格化】
(左側通行 / 傘や携帯電話使用は厳禁)
- 歩行者 (学内での事故急増)

8. 履修指導・保護者への連絡 (学生便覧72頁⑪)

学業不振な学生さんに対しても、可能な限り、本人へ連絡をとる。

連絡が取れない場合には、ご両親へも

9. ソフトウェア・ネットワーク

- ソフトウェアの不正コピー
- ファイル交換ソフトによる不正ダウンロード
- ブログ、ツイッターなどへの安易な書込み、投稿

「学内PC(PPTP接続を含む)からのネットワーク利用に関する基準」熟読のこと

● 通知・連絡

■ 掲示板

■ KULASIS

➤ 休講情報

➤ 呼出

➤ 授業情報



留学についての補足

小川雄一

2 回生、3 回生へのアナウンス

- **サマースクール**『世界人口90億人時代の食料生産のための日米農業比較・再認識プログラム』が実施されます。（昨年3年生、院生（全部で7人くらい）がフロリダで勉強してきました）
- **AMGENプログラム**で海外からの学生と共に、いち早く研究室で勉強できる機会があります。（事務局からのHP参照）
- 今後の国際化、将来の会社就職に必要な英語能力を上げるため、3回生は『**技術英語（前期）**』と『**Introduction to Bio-Systems Engineering（後期、月曜2限）**』を必ず履修してください。特にIntroduction…では、台湾大学の学生と仲良くなれるチャンスがあります。

本日のガイダンス

1. 地域環境工学科の分野・カリキュラムの説明
2. 学生便覧の解説
3. 同窓会(洛水会)からの連絡

